



vol.18
2020.10

HIGASHIHIROSHIMA・TAKEHARA Harmony

広島県看護協会東広島・竹原支部会員数

保健師	9人(入会率9%)
助産師	10人(入会率22%)
看護師	1,088人(入会率47%)
准看護師	109人(入会率14%)
合計	1,216人(入会率37%)

CONTENTS ① ご挨拶 ②・③ コロナ禍での新しい生活様式 ④ 研修報告/新役員ごあいさつ

ご挨拶 Greeting

支部長あいさつ



支部長
内山 早苗
県立安芸津病院

会員の皆様におかれましては日ごろの支部活動に参加及び協力していただきありがとうございます。2020年は新型コロナウイルス感染症により医療や看護は激動の中を進んでいます。その中で、少しずつ新しい生活様式にも戸惑いながらも新たな局面に突入しています。2020年度の研修会を新型コロナウイルス感染者数の動向と感染予防の観点から中止といたしましたこと、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。2021年度の研修会に関しては徐々にイベント開催制限などコロナ感染対策の状況を確認しながら、2020年度できなかった研修会などさらに充実した研修会の企画・実施をと役員一同考えております。また新型コロナウイルス感染症の動向も不確実な中、東広島・竹原支部の医療・看護を支えていくことにも取り組んでいきます。さらなる会員の皆様のご協力をお願いいたします。

地区理事あいさつ



担当理事
田中 明美
医療法人社団仁慈会 安田病院

清秋の候、会員の皆様には平素より看護協会・支部活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度より地区理事に就任いたしました。コロナ禍の中、皆様のご苦勞はいかほどかと拝察いたします。「新しい生活様式」という言葉に象徴されるように、社会や経済が大きく変化しています。コロナと共生するwithコロナ時代にどう支部活動するのか、大きな課題ですが、「新しい支部活動をつくる機会」ととらえ、支部役員と知恵を絞りながら連携し、支部運営がよりよいものになるよう、広島県看護協会とのパイプ役としての役割に努めてまいります。

今後ともこれまでと変わらぬご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



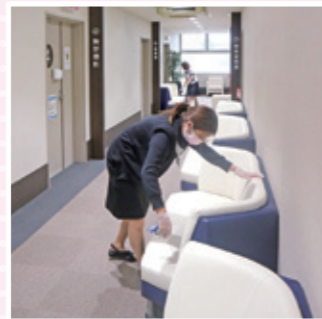
コロナ禍での新しい生活様式

医療法人社団 仁慈会 安田病院

新型コロナウイルスの感染を防止するために、入院患者様や施設入所者様への面会禁止、又は制限を継続しています。面会禁止期間中では、ご家族と会えない寂しさやご家族の心配を考慮し、4/17から「テレビ電話による面会」を開始しました。ある認知症の患者様がテレビ電話に戸惑いながらも、お孫さんの顔や名前を思い出し、笑顔で会話を楽しんでおられたそうです。お互いの姿や表情も確認できるため、コミュニケーションに役立つ取り組みの一つになっています。



社会医療法人千秋会井野口病院



令和2年は、新型コロナウイルスへの対応とともに幕を開け、これまで以上の徹底した感染管理が求められる年になりました。当院でも①広島県のフェーズを確認しながらの面会禁止・面会制限②玄関前での検温③衛生材料・医療材料の確保④正確な情報を院内全体で共有するための新型コロナ対策会議⑤オンラインを活用した会議や研修会の工夫などを行ってきました。まだまだ先の見えない状況が続きますが、できることからしっかりと感染対策を実施していきたいです。

県立安芸津病院

安芸津病院では七夕やクリスマスの時期には看護部・有志職員による院内コンサートを開催するなど職員の顔が見える活動を行っています。入院患者様には昨年末から続く新型コロナ感染予防対策にて面会禁止となり、家族と会えない日々が続いています。その中で私たちが何かできることはないか考えました。そこで七夕やクリスマスコンサートを開催し出演者の姿を見てもらうことで、入院患者様が楽しい時間を過ごしていただければとリモート放映はできませんでしたが録画放映を行いました。初めての取り組みでしたが、入院患者さまに少しでも元気を与えることができ、私たちみんながそばにいること、支えたいという思いを感じていただけたのではないかと思います。



KKR 呉共済病院忠海分院

コロナ禍での当院での新しいスタイルとしては、3密をさけるために研修会を2つの会場に分けてオンラインで開催したり、研修内容を録画して研修に参加できなかった職員には後日視聴してもらったりして以前の研修スタイルと大きく変わりました。

また連合会病院間の会議は、これまでは全国各地から集合して会議が開催されていましたがリモートによる会議へ変更となり、画面越しでの対面が増えました。

医療法人 三山会 宗近病院

当院は、認知症疾患医療センターの併設に伴って、高齢の外来患者様も増えており、新型コロナウイルスへの感染防止対策として面会の制限をさせていただき中、今春から受付・会計窓口と面会室にアクリル板を設置して外部接触の最小限化を図っています。

現状、病棟への入室制限や行動の自粛の中で、WEB面会やアクリル板越しでの面会を余儀なくされていますが、私たちスタッフもご家族の思いに応え、患者様の気持ちに寄り添っていきながら、安心・安全に働けることのありがたさを実感しています。



医療法人 若葉会 西条中央病院

今年2月、新型コロナウイルス感染対策について病院出入口を一カ所にして検温とコロナウイルスチェック表で問診してスクリーニングすることから始めました。外来では発熱、呼吸器症状等ある患者に対しては救急外来入り口より出入りして9番診察室を専用としています。担当医師、看護師はPPEを着用して診察、検査に対応します。1日最高5人くらいの患者を対応してきました。スタッフには診察前後の手指衛生、診察終了後の環境整備、換気を徹底するように指導してきました。

6ヶ月が経過し医事課職員の電話対応による患者からの情報をきちんと共有することも確立してきました。

NHO 東広島医療センター



1月16日に、新型コロナウイルス感染患者が日本国内で初めて報告されて以降、私たちの日常は、非日常となりました。当院でも色々と対策を行っていますが、その中の一つに休憩時間のソーシャルディスタンスがあります。看護師は、平日10数名の勤務者が時間をずらして病棟内の休憩室を使用していましたが、4月以降、11:00~14:00の間は複数の会議室を開放して、「密」を避けて休憩を取っています。10月からは、東京もGO TOキャンペーンの対象となり、規制が緩和されてきていますが、院内はまだまだ新型コロナ対策継続中です。

医療法人社団 葵会 八本松病院

コロナ禍において面会制限がなされた中、長期療養病棟では患者様の表情を写真に納めてご家族様へ郵送しました。安心したという声を多く頂いております。

また、リモート面会の時には、事務・セラピスト・地域連携室と多職種の協力もあって実現しました。

外来では新型コロナウイルス感染拡大を受け春先より、院内にウイルスを持ち込まないという信念のもと正面入り口付近での有熱者・感冒症状の有無の確認を行っています。

限られた人員の中、スタッフ一同入院患者様の感染予防の為にゲートキーパーと称し切磋琢磨して頑張っています。



医療法人社団 博愛会 木阪病院



木阪病院では、面会ができない期間が長くなっている事から、患者さまとご家族が顔を見て話ができるよう、入院中の不安が軽減するよう現在オンライン面会導入を検討しています。

木阪クリニックでは、9月からオンライン診療を開始しました。

物資が不足している時は、職員が協力し手作りエプロンを作成しました。ご家族からは、大変でしょうが頑張ってくださいと温かい言葉をたくさん頂き、とても励みになりました。

研修報告

腰痛予防

社会経済福祉担当 横山

社経担当の研修会を「あきらめないで看護職の腰痛」と題しマツダ病院リハビリテーション療法士長山崎重人先生をお迎えし実施する事が出来ました。

この度は新型コロナウイルス感染拡大予防対策を十二分に考慮し研修を行いました。腰痛予防法の実践や職場での体の動かし方も学び、また社経の活動伝達も行うことが出来ました。この学びを活かして公私共に体を動かしていけたらいいなと思います。



看護研究サポート

教育担当 小泉

3施設より申込みがあり、広島国際大学看護学部講師を迎え教育担当2名で対応しています。7月より看護研究の講義、8月より3回のサポートが始まっています。

コロナ感染対策も考えて4~6人で時間ごとに分けて研修会場に来て頂く配慮も行なっています。講師の先生より適切な助言や指導を頂き参加者の熱心な取り組みも見られました。



新役員ごあいさつ



▶教育担当 才迫 りえ (八本松病院)

今年度、教育担当をさせていただいております。新任当初は不安でしかなかったのですが研修会の企画を進めていくなかで、支部長・支部役員皆様に助言・アドバイスをいただき自己の成長に繋がっていきました。しかし今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の懸念もあって予定されていた研修会が中止となり開催には至りませんでした。とても残念に思っています。今後、研修会が再開した時には、会員の皆様が有意義な研修会に参加できるよう努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



▶総務担当 高木 美都里 (木阪病院)

この度、総務を担当させて頂くことになりました。役員会・施設代表者会議の議事録、看護連盟との交流事業等、福祉祭りを担当します。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で例年の支部活動を行うことができませんが、支部役員の方々とネットワークを大切に、来年度の活動に活かしていきたいと思っております。

不慣れでご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



▶総務担当 勝田 真知子 (東広島医療センター)

今年度から新しく総務になりました、東広島医療センターの勝田 真知子です。総務は3名ですが、今回全員が新任の役員です。今年度は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、予定し

ていた研修や行事が中止となり、いつもと違う状況ではありますが、他の役員の方々に相談しながら頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



▶総務担当 高川 弥佳 (安田病院)

この度、総務の役割を担う事になりました。主に施設代表者会議の案内作成、支部事業計画及び活動報告書の作成、総会進行台本の作成などを担当いたします。支部の役員を務めるのは初めてですが協力を得ながら役割を果たしていきたいと思っております。今年度はコロナ禍において、予定していた支部行事が次々と中止が決まり、残念な気持ちですが共にアイデアを出しながら、支部運営が円滑に進められるよう努めたいと思っております。宜しくお願いいたします。



▶副支部長担当 久保田 京子 (呉共済病院忠海分院)

今年度より副支部長を務めさせて頂くことになりました。初めて役員を担うことに緊張していましたが、新型コロナウイルスの影響でほとんどの研修が中止になるなど、これまでにない状況に戸惑いと役員としての責任が果たせるのかという不安を感じています。

活動に制限がかかる中、支部役員として何ができるのか、新たな活動を考える良い機会と前向きに捉えて役員一同協力し合い活動していきたいと思っております。

[発行日] 令和2年10月31日発行 [発行責任者] 内山 早苗

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 東広島・竹原支部 〒739-0014 東広島市西条町昭和町12-49-402 TEL.082-422-8858